

令和5年度第1回寝屋川市ごみ減量化・リサイクル推進会議

日 時：令和5年5月29日（木）10：00～

場 所：寝屋川市クリーンセンター6階 多目的室

議 題：委員・事務局の紹介、会長・副会長の選出、本市のごみの現状と取組について、第5回寝屋川市環境フェアの開催について、寝屋川市ごみ減量化・リサイクル推進会議スケジュール（予定）について、その他

出席者：花嶋会長、荻野副会長、内田委員、北委員、森本委員、寺島委員、竹川委員、掛川委員、水井委員、櫻井委員、榎並委員、土保委員、森委員

次第1．委員・事務局の紹介

（資料1に基づき、事務局より説明）

次第2．会長・副会長の選出

（資料2に基づき、事務局より説明）

次第3．本市のごみの現状と取組について

（資料3に基づき、事務局より説明）

会 長：資料6ページのリサイクル率についてですが、府内平均が10%、直近で14.2%、寝屋川市が21.3%で、大きく違うと思いますが、具体的にどういう物がたくさんリサイクルされているのか、あるいは、もともとの分母になるごみ量が少ないのか、このリサイクル率が府内平均よりかなり大きくなっている理由についてもし分かれば、教えていただけますか。

事務局：先ほど説明させていただいた資源集団回収事業は、1キロ当たり6円の報奨金を出しているという事業でございますが、自治体によっては、同様の取り組みをしてくれども、報奨金を出していない、あるいは、キロ当たり例えば3円など、本市は資源集団回収に対する報奨金の額が大きいところが一つとして考えられ、また、各団体の方が、ご協力いただいていることによる成果が大きく影響していると思います。もう1点は、火災のところで説明いたしました北河内4市リサイクルプラザは、廃プラとペットボトルの分別して回収しているところでございますが、廃プラとペットボトルの収集の割合が高いところも大きく影響していると考えられます。

会 長：ありがとうございます。他に何かご意見ご質問等はございますでしょうか。

委 員：8ページのフードドライブは、家庭で余っている食べ物を持ち寄り、取りまとめて地域の福祉団体等に寄付する取り組みと書いていますが、これは小学校、中学校の全校で行われているのでしょうか。

事務局：フードドライブの取り組みに関する説明といたしまして、各家庭で余った食べ物を持ってきていただくという事業でございます。市役所本庁舎、保健福祉センター、駅前にある産業振興センターの3ヶ所に回収ボックスを置いておりますので、ご家庭で余ったものを持ってきてもらうという形で実施しております。

委 員：12ページの雑がみ・ペットボトルキャップ回収事業は、市立の小中学校全てで行われているのでしょうか。私が住んでいるマンションでは、ごみを捨てる場所に雑がみがたくさん入っているので、この事業はきちんと行われているのか、疑問に思いました。

事務局：12ページの雑がみ・ペットボトルキャップ回収事業につきましては、市立の小中学校の全てで実施しています。私立については実施しておりませんが、小学校 24 校と中学校 12 校、合計 36 校で実施しております。

会 長：ご近所に雑がみがたくさんあるというお話もあったと思いますが、雑がみはたくさんあってもいいのでしょうか。

事務局：雑がみにつきましては、可燃ごみの中には入れず、地域の資源集団回収あるいは寝屋川市が行政回収している古紙として出していただく形になります。ただ、ビザの箱等少し汚れが目立つような紙につきましては、可燃ごみという形でお願いしております。トイレトペーパーの芯やラップの芯、お菓子の箱等については、可燃ごみではなく、自治会の資源集団回収、市の行政回収、あるいは、児童・生徒に学校に持って行ってもらう、この3点のどれかでお願いできればと考えております。

会 長：ありがとうございます。他に何かご意見ご質問等はございますでしょうか。

委 員：資源集団回収の業者について、教えていただけますでしょうか。

事務局：集団回収を回収する業者につきましては、資源集団回収の登録ということで、回収する業者については、現在、環境総務課で要綱を設置して、進めております。どこの業者がいいのかを選んでもらう形になりますが、登録していただいている業者であれば、回収していただく事業です。事業者名が登録されている場合は問題はない

という認識になります。

委員：ありがとうございます。

会長：ありがとうございます。他に何かご意見ご質問等はございますでしょうか。

委員：9ページの生ごみ処理機の購入費の補助やごみ減量マイスターについて初めて聞きました。

事務局：生ごみ処理機の購入補助制度やごみ減量マイスターについて、引き続き広報などで、市民の皆様に見ていただけるような形について検討します。

会長：ありがとうございます。知らなかった方がおられる点も、一つの大きな情報になると思います。

次第4．令和5年度寝屋川市環境フェアの開催について

(資料4に基づき、事務局より説明)

委員：今年度も参加する予定です。堆肥の無料配布はとてもいいことだと思います。堆肥に「生ごみ等も使うことができます」というようなチラシも一緒に配布されないのでしょうか？

事務局：貴重なご意見ありがとうございます。現時点では、考えておりませんが、今後は工夫改善の余地があると考えておりますので、よろしく願いいたします。

委員：堆肥を使うことはとてもいいことだと思いますが、生ごみを使って実際に作ってみることによって、生ごみの削減に繋がるだけでなく、自分で簡単に作ることができると実感する取り組みとなるので、広めていただきたいと思います。

会長：ご意見、ありがとうございます。他に何か質問等ございますでしょうか。

委員：事業系ごみについて、考え直さなければならないと考えております。ただ、市民とできるだけごみを削減させることについて、考えていかなければならないと思います。

事務局：事業系のごみについても考える必要があると思いますので、ご意見を聞かせていただきたいと思います。

会長：ありがとうございます。

次第5．寝屋川市ごみ減量化・リサイクル推進会議のスケジュール(予定)について

(資料5に基づき、事務局より説明)

委員：3ページにある本市のごみの現状と取り組みにおいて、令和3年度の目標値と実績

値が悪いという報告があったと思います。去年一年間は目標値位で推移していたという記録から考えると、月間的に1月2月3月頃のごみ量が多いことが影響しているのであれば、年明けの広報のなかでごみのリサイクルの話を入れてみる等、効果的な広報を検討してみるといいと思います。

会 長：ありがとうございます。今の目標通りに進んでいたのではないですかという質問についてはいかがでしょうか。

事務局：資料については、令和3年度実績値と目標値でございますので、昨年度の会議の中でお示ししていた目標値に近い数字は、おそらく令和4年度の数字になっていたと思います。委員が先ほど仰っていた通り、目標値にかなり近い数字になっていたと思います。そのため、令和3年度は目標値を少し上回っていましたが、令和4年度については、目標値に近い数字になってきたというところでございます。ご理をいただければと思いますので、よろしく願いいたします。

会 長：ありがとうございます。確定値が出ているのが令和3年度ということで、直近の令和4年度末までの数字ではないということです。他に、何か全体のスケジュール等について、あるいは、本市のごみの現状と取組についてでも、結構ですので、何かご意見やご質問等はございますでしょうか。

次第6. その他

(資料5に基づき、事務局より説明)

事務局：次回の日程につきましては、8月29日の火曜日を予定しております。後日、案内を送付させていただきます。

会 長：ありがとうございました。他になければ、これで、本日予定しておりました案件はすべて終了いたしました。